

「社会的」ひきこもり・若者支援近畿交流会 主催

# ヒキコもり・コネクト

session & symposium

ひきこもりは怠け者。ひきこもりはかわいそうな人。ひきこもりは甘えているだけ。ひきこもりは普通になれない人。ひきこもりは近寄らない方がいい危ないヤツ。ひきこもりはやさしくて真面目。ひきこもりは××××××。

**それらはきっと全て妄想——**  
**あなた方の価値観を壊したい。**  
**私自身の価値観を壊したい。**  
**境界線が崩れてゆく世界へ——**  
**ようこそ、ただいま**

開催日時：2018年3月18日(日) 10:00—17:00

会場：豊中市千里文化センター「コラボ」(住所：豊中市新千里東町1-2-2)

資料代：500円

御堂筋線・南北線・大阪モノレール線千里中央駅スグ

Design by  
Jun Nakanishi

## 申し込み

ご参加を希望の方は、①名前、②希望する分科会の番号、③シンポジウム参加の有無、④懇親会参加の有無、を明記の上、下記のいずれかまでお送り下さい。

MAIL: mail@hikimap.org FAX: 06-6616-9136

住所：〒550-0015 大阪市西区南堀江3-15-7-5A

後援：大阪府、高島市、豊中市、枚方市 ...予定

今へつなげる、  
次へつながる。

# I 分科会

10:30-12:30(予定)

(※各部屋に分かれて行きます)

## 1 ひきこもりと家族会のあり方

プレゼンター:古庄健(枚方市親の会世話人)

ひきこもり支援で家族会は大きな役割を果たしています。そのあり方について話し合います。

## 2 「ひきこもりくん」をゲーム形式で育てよう!

ファシリテーター:中西淳(フリーランスデザイナー)

架空のケースひきこもりくんをベースに、こもりながらも成長できる方法をみんなで考えませんか。

## 3 企業人と語り合うこれからの仕事のカタチ

ファシリテーター:三浦雄己(社会福祉法人つむぎ福祉会)

企業の方をお招きし、誰もが働きやすい環境を作るための「仕事のカタチ」についてアイデアを出し合います。

## 4 言葉の響きを聴くワークショップ&食べる瞑想

プレゼンター:inoue(そばアーティスト)×五條治(2児の父)

声を出す。体を動かす。食べ物を食べる。日常的にしていることに意識を向けてみませんか?

## 5 行政関係者と考えるまちづくりワークショップ

プレゼンター:是永宙(高島市議会委員)、竹内佑一(PSIカウンセリング)

行政で実施されている施策を聞いた上で私たちにできることをゲーム感覚で考えます。

## 6 「外」の居場所と余暇活動～ダイバーシティカップを例に

ゲスト:川上翔(認定NPO法人ビッグイシュー基金)

ひきこもり等、当事者向け以外の場や居場所について、ダイバーシティフットサルを例に考えてみます。

## 7 これから若者支援を志す方のためのワークショップ

プレゼンター:伊藤康貴(社会学者)

最前線で活躍されている方を交え、これから現場に参入する際の悩みや問題点について話し合います。

## 8 ひきこもりと教育問題

ファシリテーター:宮城登(大阪市学校園教職員組合 執行委員長)

教育学者、元教員、経験者ら、日本の教育に課題を感じている「当事者」が、内省的に「教育」と「ひきこもり」の問題について考えます。

# 分科会とニコニコポヨウ

笑って、帰ろう。

## II シンポジウム

13:00-15:40(予定)

### THE ひきこもり業界24人のから騒ぎ

ひきこもり関係者が24人も集まるシンポジウムとは、一体どんなものなのでしょうか。

「ひきこもり」ってどういう人なの? — 答えは「人それぞれ」です。誰かが代表して答える事なんて、できません。「ひきこもり」は、多様なのです。「ひきこもり」の固定観念を覆したい!

当日は、司会・ゲストらの案内と共に、いくつかのテーマにもとづいた対話形式で進行します。

同じ世界にいながらんでバラバラな登壇者総勢24名を迎え、今日は愉快なから騒ぎ。

”多様性”について肌で感じて、そして笑顔で帰れますように。どうなるかは、来てのおたのしみ。

司会:竹内佑一(PSIカウンセリング代表)  
ゲスト:田中直之(千里地域連携センターセンター長)  
原未来(滋賀県立大学准教授)

### & ゆるぺちゃ交流会(+休憩スペース)

特定のテーマで分科会に参加したいわけではないが交流はしたい方のスペースと、休憩所。

詳細は随時更新しています。  
ウェブサイトをご覧ください。

[hikimap.org](http://hikimap.org)

